

平成 27 年 12 月 北秋田市長定例記者会見

平成 27 年 12 月 28 日（月）10 時 30 分
市役所本庁舎 大会議室

1. 今年 1 年を振り返って
2. 森吉山阿仁スキー場「樹氷鑑賞」について
3. その他
 - ・ 1 月の行事予定

1. 今年1年を振り返って

今回の定例記者会見が本年最後となりますので、1年を振り返っての感想と新年の抱負について少しお話させていただきます。

まずもって、今年には地方創生元年といえる年でありました。先行型事業として実施した「スーパープレミアム商品券」や「スーパープレミアム宿泊利用券」は早い段階で完売いたしましたし、内陸線の「秋田ふるさと乗車促進事業」も大変な好評をいただき、地元での消費が高まり、地域に大きな盛り上がりを生み出すことができたと考えております。

また、「北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を行い、人口減少の抑制を最大目標として、安定した雇用創出、移住・定住、そして安心して結婚・出産・子育てができるための環境づくりの実現に向けて、その取組みを進めたところであります。

観光面におきましては、市の観光の主軸となる森吉山において、3年目を迎えた「まるごと森吉山観光振興プロジェクト事業」によります森吉山ビジターセンター「ぷらっと」の完成とゴンドラ山麓駅舎へのエレベーター設置等により、車椅子の方をはじめ「いつでも」「だれでも」気軽に訪れることができるようになりました。これからの樹氷シーズンのほか、花の百名山にあげられる森吉山の四季折々の雄大な景色を、より多くの皆様に楽しんでいただきたいと思いますと考えております。

このほか、生活基盤の維持向上の面では、南鷹巣団地建替え事業の宮前町団地40戸が完成し、10月から入居を開始しておりますし、市民ふれあいプラザの工事も順調に進んでおり、4月のオープンを予定しております。そして、クリーンリサイクルセンター整備事業や森吉・合川地区統合簡易水道施設整備事業などの大型事業も稼動予定年度に向けた整備が順調に進んでいるところであります。

平成28年度は日沿道の二井田真中ICから鷹巣IC間が開通し、大館能代空港を含めた北秋田地域が東北自動車道と繋がり、この地域の交通体系が大きく変わります。地域が日沿道と結ばれることによる交流人口の拡大や物流の活性化などのストック効果やそのメリットを最大限に活かしていくとともに、第二次総合計画の中心として位置づけております「北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各種事業を着実に実行することで、市民の皆様が北秋田市に生まれ、育ち、暮らしていることに誇りと希望を持てるよう、ぬくもりと見守りで地域を盛り上げることで、誰もが第二次総合計画の将来都市像に掲げた「住民が主役の“もり”のまち」を実感できるよう、市民の皆様と共にまい進してまいりたいと考えております。

2. 森吉山阿仁スキー場「樹氷鑑賞」について

来月1月9日（月）から森吉山の樹氷観賞期間が始まります。

今シーズンは降雪が少なく、樹氷観賞への影響も心配されましたが、今週からは降雪が続くということもありまして、無事に樹氷観賞期間を迎えられそうな状態になってきております。

当市では、山形県の蔵王、青森県の八甲田と共に森吉山を「日本三大樹氷観賞地」としてアピールしておりまして、樹氷の大きさや迫力はもちろんであります。森吉山阿仁スキー場のゴンドラ山頂駅舎から、わずか徒歩5分で大樹氷群が鑑賞できるという手軽さも魅力となっているところであります。

特に、今シーズンはビジターセンター「ぷらっと」の完成とゴンドラ山麓駅舎へのエレベーター設置により、「冬山に行くのは自信がない」とか、「樹氷は見たいけれど、寒いのはどうしても苦手」との理由から、二の足を踏んでいた方でも樹氷を楽しんでいただけるような整備を行っておりますので、多くの皆様に足を運んでいただきたいと考えております。

また、この樹氷鑑賞期間に合わせて、「森吉山定期乗り合いタクシー」の運行のほか、内陸線と乗合いタクシー、ゴンドラの往復券がセットになったお得な「森吉山観光パス」が販売されます。特に、「森吉山観光パス」は、平日最大で、1,500円お得になりますほか、市内施設でパスを提示することで「ちょこっとサービス」が受けられるものですので、是非ご活用いただきたいと考えております。